

2016年11月2日

＜始祖鳥展～科学か芸術か～のご案内＞

Page 1/3

2016年度ミニ企画展示「始祖鳥展～科学か芸術か～」

開催地	神奈川県立生命の星・地球博物館 〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499 電話:0465-21-1515 ファックス:0465-23-8846
開催期間	2016年10月25日(火)～2016年11月15日(火)
開催時間	午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

※ このミニ企画展示コーナーは、どなたでも無料で自由にご覧いただけます。
ライブラリーのご利用も無料です。



始祖鳥のロンドン標本、ベルリン標本を始め、アイヒシュテッド標本や
マックスベルク標本、翼竜のキャスト・モデルが一堂に会しています。
芸術家・アート＝ウォーレン氏製作のモデルがその半分ほどを占めています。

ウォーレン氏のモデルおよびクランツ商会のキャストは、弊社がご提供いたしました。



アート＝ウォーレン氏は、ベルリン標本のネガ部のモデルをも製作しました。
(上段、左から3体目。上段右端も、ウォーレン氏作のロンドン標本。
下段も、同氏の作によるアイヒシュテッド標本とマックスベルク標本)



2体とも、アート＝ウォーレン氏の作品です。
画像には写っていませんが、下段には小型翼竜のモデルも展示されています。

アート＝ウォーレン氏は、「型取りをしなくても、キャスト以上のモデルを製作することができる」と豪語するほどの技量の持ち主です。「始祖鳥展」では実際に型を抜いて作られたキャストと、彼の「作品」を見比べることができます。

ウォーレン氏の作品はあくまで「モデル」であり、学術的な面ではキャストに及ぶところではありません。一方で、何度も型抜きを繰り返して劣化した型で作られたキャストには、細部が失われてしまうなどの問題点もあります。ウォーレン氏は原標本を忠実に再現しているため、その作品を「キャスト以上の出来栄え」と自負しています。

キャストとモデル、それぞれの持つ意味や長所を見つめ直す機会として、大変興味深い特別展です。先生方には、是非とも直接足をお運びの上でご覧いただきたく存じます。

なお、弊社より提供させていただいたモデルやキャストは12月初旬にサンシャイン文化会館で開催される東京ミネラルショー（通称「池袋ショー」）にも持参し、ブース内で展示する予定です。

株式会社ゼネラルサイエンスコーポレーション

自然史担当 鈴木 伸

Email: gsc@shibayama.co.jp